



第30回日本勤労協全国総会へ向けて

第30回日本勤労協全国総会

◇日時 2021年6月6日(日)～7日(月)

◇会場 「ホテル矢太楼(やたろう)」

長崎県長崎市風頭町2-1 (T095-828-1111)

会場ホテルの紹介

会場となる「ホテル矢太楼(やたろう)」は、長崎市内を眼下にできる小高い丘の上にあります。長崎市は

近年、香港、モナコと並び世界新三大夜景に認定されており、夜景を眺められるポイントには夜ごとに観光バスが出るほどです。

ホテルはまた、グラバー園や大浦天主堂、オランダ坂といった観光名所や、さらにJR長崎駅までも15分の距離にあり、交通至便なところです。

歴史に興味がある方には坂本龍馬の銅像が立つ風頭公演ま

では散歩圏内、龍馬ゆかりの「亀山社中記念館」も近くです。ただし、坂道なので心して歩いてください。

じっくり異国情緒に浸ったり、被爆地長崎で平和の意味をかみしめたりと参加の皆さんの気持ちに添えるものと長崎県勤労協一同、自負しております。

(写真 右上：ホテル矢太楼 左中：世界三大夜景 右中：グラバー園 左下：中華街
中下：長崎名物しっぽく料理(夕食に少し出るかも?) 右下：亀山社中記念館)



(日本勤労協幹事 矢野俊雄)

ブロックの動き・県連の動き

■東海北陸ブロック

東海北陸ブロック幹事会を開催

9月2日（水）13：30～福井市アオッサ会議室にて、東海北陸ブロック幹事会を開催しました。

〔参加者〕 （石川県）藤田、細川 （静岡県）橋本 （富山県）酒井
（福井県）渡辺 （事務局）伊藤

〔報告事項〕

- ① 日本勤労協報告 組織検討委員会の素案、各県の状況報告
- ② 会計報告 ブロック総会延期により、各県連からの会費が使われていない。今年度、来年度の各県会費は徴収しないこととする

〔協議事項〕

- ① 日本勤労協組織検討委員会素案の検討結果
各県とも素案通りで
東海北陸ブロックの組織検討委員は富山県連の酒井氏が参加
- ② そのほか
第30回日本勤労協全国大会（長崎）日程 2021年6月6日～7日
2022年東海北陸ブロック大会は石川県で開催予定

（静岡県 橋本勝六）

■関東甲信越ブロック

第13回関東甲信越ブロック総会の書面議決

2020年に入ってから世界的に拡大している新型コロナウイルス感染は、活動自粛が求められ、行政や各種団体の行事が軒並み中止になっています。勤労協組織も各ブロック総会は中止となり、関東甲信越ブロックも事前幹事会の開催もできずにいます。従って今時総会は開催せず書面で議決をおこないました。結果は下記のとおりです。

- 1、 2018、2019年度活動報告と会計現況報告 3県とも承認
- 2、 日本勤労協組織検討委員会素案 3県とも承認
- 3、 関東甲信越ブロック方針 3県とも承認

これにより、方針案は可決されました。

〔関東甲信越ブロック 2020. 2021 年度活動方針〕

ブロックの状況

- 1、茨城、千葉、神奈川、群馬、栃木、長野、新潟がこれまでの各県連です。現在は実質3県連ですが、新潟、群馬は単協が減少しています。
- 2、日本勤労協の提起する全国交流会の担当をブロックとして受け持てるかは疑問があります。
- 3、しかし、勤労協運動は市民と協働する運動です。存続することが社会に対する貢献です。

ブロック連絡会として継承し活動を継続します。その際、次の体制とします。

- ・全国交流会に準じ、「関東甲信越ブロック交流会」として名称変更します。

・ブロック連絡体制はこれまでの形態を踏襲します。2020年2021年は会長は新潟、副会長は長野、事務局は群馬とします。

・会計は当面残金を使用します。会費はナシとします。その後はその都度、各県連負担です。

・会議や交流会は、その都度協議とします。

ブロック・各県勤労協とも今後継続できるかは不明ですが、連絡網は維持します。

各県連やブロックは、解散や自然消滅も考えられますが、その際の情報は共有します。

・組織検討委員会への参加者は新潟、群馬からとします。

[関東甲信越ブロック役員]

会長 梨本重雄（新潟） 副会長 清水可晴（長野） 事務局長・日勤 南雲鋭一（群馬）
幹事、監事の選任は改めて協議します

（関東甲信越ブロック報告資料より）

■石川県勤労協

第39回定期総会を開催

6月19日に第39回定期総会（コロナ禍のため拡大代表幹事会で代替）を開催し、2019年度の総括と2020年度の活動方針並びに役員体制を決定いたしました。

新役員一同「ふれあい、たすけあい、まちづくり」のスローガンの下、各労組・友誼団体の皆様とともに2020年度の活動を進めていく所存です。とともにコロナ感染の早い終息を祈ります。

◇2019年県への要望（議案書より抜粋させていただきました・編）

- ・食の安全、安心に向けた取り組み強化
- ・脱原発、自然エネルギーへの政策転換。滋賀原発の廃炉を北陸電力に求める。
- ・防災対策の見直し、とりわけ原子力防災計画の抜本的見直しを進める。
- ・集中豪雨に備えた水害対策、避難施設の見直し
- ・過疎化による住民の格差が生じないよう、過疎地のインフラ確保を政策的、財政的に要請。
- ・高齢者医療の負担増大に対し補助を増やし、国への財政支援を要望してほしい。「地域巡回型訪問サービス、居宅支援」「地域包括ケアシステム」の地域格差を生じさせない施策を。
- ・障害者の雇用促進、義務教育後の就学、就労への総合的な取り組み
- ・教職員の働き方改革。超勤多忙解消、業務見直し、非正規職員の条件改善を早急に。
- ・学校統廃合によって生じた生徒や保護者の負担軽減へ市町連携での取り組み
- ・学校図書館司書の就労状況に鑑み正規職員並みの処遇改善を。
- ・外国人労働者増加による二世児童への支援。学校現場でのインターナショナルなサポートスタッフ配置
- ・LGBTへの理解、ハラスメント防止は不十分、より広がりを持つSOGIを広めていく
（LGBT→性的マイノリティ SOGI→Sexual Orientation and Gender Identity「どんな性別を好きか」、「自分自身が認識している性」という「状態」を指すので、私たち全員が含まれる）
小・中・高生へSOGIの教育とカウンセラー配置。県民対象の周知啓発を積極的に行う。
- ・新幹線開業後も在来線の利便向上と充実を図る。金沢・能登間の交通利便確保と充実を図る。
- ・輪島市門前大釜地区の産廃処分場について環境アセス面、風評被害を再確認し対処を。
- ・地域医療の中心である公的医療機関の安易な統合を行わない事。

◇2020年 一年間の具体的活動

- 1、第39回研究集会は中止します
- 2、第26回フォーラム石川を開催します（11月予定）
- 3、「ふれあいネットワーキング」（物資販売）の取り組みを強化します
- 4、日本勤労協第13回東海北陸ブロック会議石川総会（5/31-6/1）は開催延期。来年は日本勤労協全国総会（長崎）で開催予定であり、第13回東海北陸ブロック総会は再来年度の開催です。
- 5、自治体要求作りと自治体交渉をすすめます。
- 6、地域の生活環境と自然環境を守る運動に参加します。
- 7、東海北陸ブロック幹事会の機能強化に努めます。
- 8、総選挙と自治体中間選挙に取り組みます。
- 9、情報宣伝活動を強化します。

（役員体制） 会 長 藤田利男（能美）

副会長 中道雄太郎（七尾・鹿島） 中江川和臣（白山市）

吉岡純一（小松市）

事務局長 細川武（金沢市）

事務局次長 平田和伸（白山市）

■福島市勤労協

勤労協市連第39回定期総会を開催

コロナ禍の条件において、「勤労協らしさ」追求に向け英知を集結しよう!!

須田会長ご苦労様 —— 古川新会長に期待!!



7月29日(水)上浜町「教育会館」において、勤労協福島市連第39回定期総会が開催されました。

非常事態宣言後「第二波」と言われる感染拡大の状況下(当日全国新規感染者数 995 人)での開催でしたので、参加者を絞り来賓や友好団体への案内も控えた異例の総会であり、参加者は21名でした。「少人数」「短時間」「ソーシャルディスタンス」を意識した総会運営において、片岡(飯坂)議長によってスムーズ

に進行し、19年度総括及び20年度方針が論議され、今この状況下では三密「密閉」「密接」「密集」が求められますが、「密閉」はまだしも勤労協運動スタイルに大きく関わるものであり、他の地域運動も含めて大きく活動が制限されています。厳しい情勢を全体で受け止めつつ、地域に根ざした各単協運動の教訓をしっかりと広げ強めなければなりませんし、『ふれあいたすけあいまちづくり』スローガンの実践と、先人より積み上げられた勤労協の絆を礎に、このコロ



ナ禍において『何ができるのか』市連と各単協の英知を結集し、一歩ずつ歩いていくことを確認しました。

「須田イズム」は古川新会長にバトンタッチ!!

本総会において会長交替の改選がありました。
須田会長「1996年第15回臨時総会で会長に新任、不安だったがだんだんいい仲間が増え共に歩んだ24年に感謝。新会長に期待する。」

古川新会長「役員選考委員会の皆さんの熱い思いに応えるべく要請を受けたが、勤労協＝須田会長のイメージが大きく、プレッシャーしかない。不安を抱えつつ自分なりに精一杯進みたいのでよろしくお願いします。」



古川会長あいさつ

「須田前会長の後を引き継ぎ、社会政治情勢が変化中、住みよいまちづくり・勤労国民のための社会に向けて皆さんとともに歩んでいきたい。よろしくお願いします」

※ この日は自民党菅総裁誕生の翌日、「安倍政権を引き継ぎ……」と似てますが、中身は全然違いますよ。

福島地区地域共闘運動の当面する活動にご理解・ご協力を!!

被ばく 75 周年原水禁カンパ 脱原発「トリチウム海洋放出反対」署名運動

憲法をいかに守るか（新聞意見広告）運動 さよなら原発市民集会 2020 憲法講演会

勤労協市連第1回幹事会学習会で問題意識を共有

～コロナ社会に潜む問題の本質を見抜こう!!～

9月15日(火)「ラコパふくしま」において、第1回勤労協市連幹事会が開催されました。第39回定期総会(7/29)後はじめての幹事会であり、新古川会長体制でのスタートとなりました。幹事会冒頭、紺野長人県会議員を講師に「コロナ社会に求められる政治」をテーマに問題提起を受け、コロナ社会の中での諸課題について学びあいましたので報告いたします。

ショック・ドクトリン

大惨事につけこんだ過激な市場原理主義改革「惨事便乗型資本主義」とは、戦争や災害及び政変などの危機につけこんで(あるいは意識的に招いて)人々のシ

ョック(恐怖心・危機意識・思考停止)を利用し過激な市場経済を強行するものであり、コロナ社会における視点として重要な要素です。

公務の市場化(小さな政府)

コロナ以前からタブレット等IT機器を導入した教育改革は、コロナ禍においてリモート学習など一気に進み、公



教育の民営化(市場化)を加速させています。

地方の医師不足状況下で遠隔診療(リモート診療)システムも着々と準備され、規制緩和や自治体任務も軽視されながら「地域間医療格差」がさらに広がる問題を含んでいます。

コロナに関する給付金や保健所対応の遅れはこれまでの行政改革公務員削減政策によるものですが、これを逆手に「デジタル化」によって公務市場をIT資本等に解放しようとしており、この急先鋒に菅新総裁が存在しています。

緊急事態宣言下で急激に広がりを見せた「テレワーク」は、利点のみが強調された報道が目立つものの、成果主義やサービス残業等働く側にとってデメリットも大きく、この考えが進むと「雇用関係」から「業務委託」へ進み、企業にとっては雇用主負担もなくなり労働基本権の外で、首切りや条件引き下げなど無権利労働者をいかようにも扱えることとなります。

コロナ危機の中で求めるべき社会

危険なことにこれら資本のねらいがコロナ禍において「人々に容認されていく」可能性が大きいことです。「戦争やテロ」「地球温暖化」「未知の感染症」そして「原発事故」など、最も豊かなごく一部の人たちが引き起こす危機にもかかわらず、そのツケは不安定雇用など貧困層により重くのしかかり、私たちはコロナ禍にこそ冷静さを取り戻し、かつてオバマ政権が進めた温暖化防止や格差是正などをめざす「グリーン・ニューディール」を求めていくことが重要となっています。

きらり健康生協主催 「東電福島第一原発視察」

～外見的には進む廃炉、しかし前途多難 !!～

9月23日(水)きらり健康生協主催による第一原発構内立ち入り視察があり、無理を言って参加させていただきました。原発構内立ち入り視察にはもともと東電による厳しい制限・条件及びチェックがありますが、今回はそれに加えて「新型コロナ対策」チェックもあり、物々しい雰囲気での視察となりました。事故から9年、「現場で見聞きする」ことの重要性を実感する一日、医療生協運動の意義ある企画に敬意を表します。(報告 藤岡)



「廃炉資料館(東電施設)」へ

常磐道を南下して富岡町にある施設へ向かいましたが、見渡す荒れ地は雑草から樹木となり、9年前に田畑だったことなど想像もつかない姿となっていました。街並みや家屋もすべて廃墟となり、その一方で社員や下請け業者及び関連会社の新築家屋が立ち並び、新旧明暗ははっきりした異様な富岡町に驚きました。

資料館で東電から事前の座学説明を受けましたが、お詫びに始まり、燃料棒取り出しを中心とした「廃炉作業を一生懸命やっています」アピールや増え続ける処理水(決して汚染水とは言わない)の状況についてレクチャーされました。しかし実際は手作業で処理した排気塔切断も「おおむね遠隔操作により」など、ところどころ東電目線の歪んだ報告もありましたが、最もアピールしてきたのが「トリチウムの安全性」の印象でした。特に感じた場面は、事故当時の映像を見せられ「事故原因に技術へのおごりがあった」という姿勢が以前にはないものでした。

原発構内視察であらためて実感

前回は報告しましたが、第一印象はその圧倒的規模感です。建屋・作業クレーンや各種施設に処理水タンクなど、それらの光景で切り取ってしまうと報道で見た光景に映ってしまいましたが、一つ一つがあまりにも巨大なものであり、この科学技術の粋を集めた原発の中で、「原子力はどうにでも操れる」東電や原子力ムラのおごりが蔓延していったことが読み取れます。

6年間ですすむ廃炉作業

それでも、前回(14年12月)はまだまだそこら中にがれきが散乱し、作業員も完全装備でうごめいている感じでしたが、ALPS等の施設も整然と立ち並びがれきも一か所に整理された敷地に、簡易マスクに作業服労働者の姿は大きな変化でした。

前回バス降車禁止でも車内で100m Svだったものが、今回は建屋付近でバスを降り1号機を間近にしても30μ Svという状況に正直驚きました。

「東電社員の思い」に質問をぶつけてみた

むき出しだった爆発建屋もカバーされ、外見的には廃炉作業が進んでいるように見えますが、1～4号機それぞれに多くの課題を背負い、デブリ取り出し等今後はより高いハードルになかなか道筋がはっきりしません。

一般的な質問をしても当たり障りのない東電見解が返って来るだけなので、角度を変えて質問してみました。

質問「プルトニウムで半減期が2万4千年、無毒化までには数十万年、この保管・管理・費用・メンテナンスを後世代に丸投げ、国の責任は大きい、我々のたかだか50年間の電気のために気の遠くなるような後世代にまで迷惑が及ぶ、国を止められなかった自分たちを含めて責任を感じるが、発電者として東電社員に何か思いはあるか？」

社員「国の方針に基づいて進めてきたとはいえ、目先のことを優先して廃棄物などのことまできちんと考えずに走って来てしまったんだと思う」

私は「東電社員よくぞ言った」と感じました。

(福島市勤労者協議会 市連だより第1号、第2号より)

■飯田市勤労協

講演「コロナ時代の食と農 学校給食へ有機農産物を」

10月28日22時からのNHKクロズアップ現代で『コロナ後の豊かな暮らしとは？見直される“小さな農業”』という番組を、30分間放映していましたがご覧になりましたか？国連の「小農の権利宣言」のことも伝え、日本のあちこちで、減・無農薬・有機農業に生き生きと取り組む、アイターンしたご夫婦や、後継者の若者たちの姿を伝えていました。世の中こういう農業が主流になっていくのではないかと、とても希望を与えられましたよ。10/24オンライン講演の地元紙、南信州新聞の記事を添付しました。

「有機農業の可能性は～食の安全とタネの話～」オンラインなど200人

「子供の食・農を守る会伊那谷」が主宰する講演会「食の安全とタネのはなし4」が24日、オンラインと飯田市文化会館など12会場で開かれた。(中略)講師で「日本の種子(たね)を守る会」アドバイザーの印鑑智哉さんによると大量生産を目的とした「工業的食」は生物多様性を崩壊させて気候変動を激化させるなど「社会、環境破壊の根幹の原因になっている」。一方で農薬や化学肥

料を使わず、土壌細菌を生かす有機農業は生物多様性を回復させ、農産物は慢性疾患の減少や健康増進につながるという、「気候変動を始めグローバルな問題の解決策になる」とした。

また政府が進める主要作物種子法廃止（18年4月）、農業競争力強化支援法、国会審議中の種苗法改正の3点を批判し「日本の種苗を支えてきた公的種苗事業が衰退し、種苗が大企業の私的財産になる」と危惧。こうした動きに対抗しつつ、地域の小規模農家による有機農業を支える手段として、地方自治体が種苗予算を継続的に確保し、地域農業を支援する必要性を強調した。市民レベルでは「消費者が声を上げることが必要」とし、農家と消費者の提携や学校給食への有機農産物の使用を提案した。（後略）

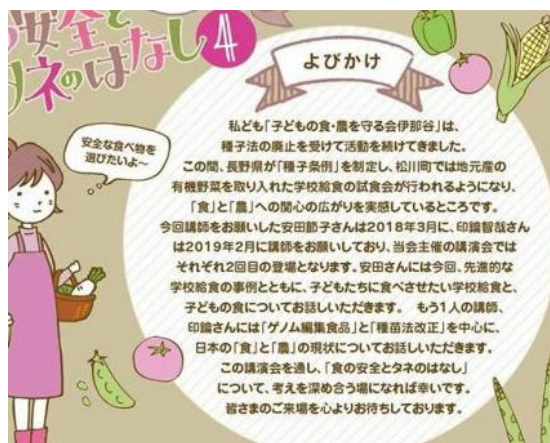
（2020.10.28 南信州新聞より） （飯田市 森本政人）

（参考）

NHK 総合 クローズアップ現代+「コロナ後の豊かな暮らしとは？見直される“小さな農業”」

放送日時：2020年10月28日(水) 22:00～22:30

<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4476/index.html>



はたらくあなたの、いちばんそばに。

ろうきんのキャッシュカードなら コンビニなどのいろんな提携ATMで便利に使えます

ろうきんのキャッシュカードでお出しができる場所はコチラ*

ろうきん セブン銀行 ローソン銀行 E-net
イオン銀行 ゆうちょ銀行 VIEW ALTE

ATMお出し手数料が
お得になる場合があります。

さらに全国のMICS加盟金融機関(銀行・信用金庫等)でもお使いいただけます。

2019年6月、
全労済から「こくみん共済 coop」へ

こくみん共済 coop
公式キャラクター ビットくん(中央)と
ビットくんファミリー

全労済は、60年にわたって組合員の暮らしや災害に向き合い、たすけあいの輪を少しずつ広げてきました。
“誰一人、とり残さない社会へ”
新しい時代、その輪をさらに強くむすぶために——
2019年6月より新たな愛称「こくみん共済 coop」を定めました。

こくみん共済	総合医療共済	せいのめい共済	火災共済
自然災害共済	マイカー共済	自賠責共済	交通災害共済
団体生命共済	新セット移行共済		

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済〈全労済〉

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の仕組みとして共済事業を営み、相互扶助の精神のもと、組合員の皆さまの安心とゆとりを暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。